

StarFes.'14 Press Release (出演者)



※国内外 A to Z 順

<http://www.vice.com/jp>
<http://star-fes.net>

DADDY G (MASSIVE ATTACK)

言わずと知れたマッシヴ・アタックの主要人物。ヒップホップ、ソウル、ジャズ、レゲエ、ダブなどを取り込んだ耽美かつダークな音楽性で、ブリストル・サウンドを牽引した彼のもう一つの顔がDJである。そのキャリアは前身のワイルド・バンチ時代より過去に遡り、弱冠10歳にしてミックステープを手掛け、80年代には地元で一番のカリスマDJとして地位を確立。2004年にベルリンの〈Studio !K7〉によるDJミックス・シリーズ『DJ-Kicks: Daddy G』をリリースしており、卓越した審美眼とミックス・スキルは世界中のフロアで引っ張りだこ。4月の来日ツアーも好評だったが、野外&ビーチというロケーションは一味違う興奮をもたらすだろう。

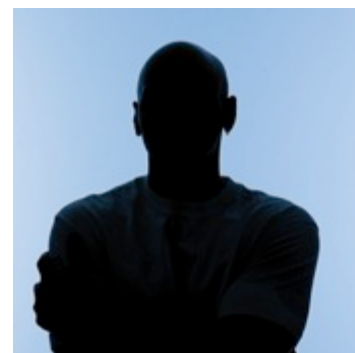
<http://www.massiveattack.co.uk>



DJ NATURE

マッシヴ・アタックの母体にして、今なお絶大な影響力を誇るワイルド・バンチの設立メンバーだったDJマイロによるシークレット・プロジェクト。90年代にNature Boy名義でNYアンダーグラウンドの寵児となったものの長らく封印されていたが、2010年に〈ゴルフ・チャンネル〉よりリリースした12"作品を皮切りに完全復活。マイロ名義では高木完や藤原ヒロシらが立ち上げた〈MAJOR FORCE〉関連のリミックスを手掛け、デビュー作『Suntoucher』を〈DIMID〉より発表するなど日本との親交も深い。DJ Natureとしての2ndアルバム『Let The Children Play』では〈Jazzy Sport〉とサインしてファンを驚かせた。

<http://www.dj-nature.squares.net>



ERYKAH BADU

米テキサス州ダラス出身のシンガー。ヒップホップやR&Bにジャズを融合させた「ネオ・ソウル」の第一人者として知られ、97年のデビュー作『バドウィズム』はセールス300万枚以上、グラミー賞も獲得した。現在までに6枚のアルバムを発表しており、シニカルでユーモラスな歌詞や、瞬時に耳を奪われるアンニュイな歌声は唯一無二。MV撮影のためジョン・F・ケネディ元大統領の暗殺現場を全裸で歩いたり、テレビ中継に乱入するなど近年は奇行ばかりが目立つが、ロバート・グラスパーやジャネール・モネイの楽曲に客演して変わらぬ存在感をアピール。今回は新作リリースも未定の中で、およそ4年ぶりの来日。

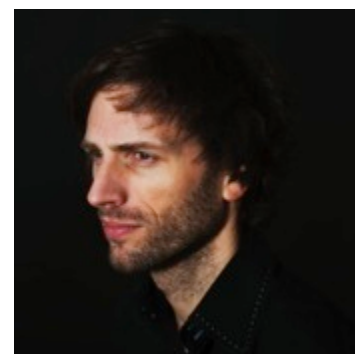
<http://www.erykah-badu.com>



LINDSTRØM

オスロ在住のノルウェー人プロデューサーにして、マルチ・インストゥルメンタリスト。2002年に自身のレーベル〈Feedelity〉を設立し、パートナーのプリンス・トーマスとの連名を含む様々な12インチ・シングルやEP、アルバムをリリース。ヴァイナルとしては異例の17,000枚を売り上げたシングル“*I Feel Space*”で世界中にその名を轟かせ、2008年の1stアルバム『Where You Go I Go Too』はクラブ・ミュージック系のリスナー以外からも高い評価を獲得、いわゆる「コズミック・ディスコ」の名盤として愛されている。2012年のシングルでは、トッド・ラングレンがキャリア史上初めてリミックスを手掛けたことでも話題に。

<http://www.hplindstrom.com>



一般のお客様のお問い合わせ先：03-6408-5478 (Vice Media Japan株式会社 / 平日13時~17時)

媒体関係のお問い合わせ (ご掲載につきましては下記担当者までお問い合わせください)

立川 智宣 (TOMONOBU TACHIKAWA) Tel : 080-5684-2176 E-mail : tomo_tachikawa@icloud.com

StarFes.'14 Press Release (出演者)



※国内外 A to Z 順

<http://www.vice.com/jp>
<http://star-fes.net>

MARK FARINA

米サンフランシスコを拠点とするDJ/プロデューサー。西海岸のハウス・シーンにおける象徴的存在で、90年代初頭から年100本以上のイベントで活躍中。あらゆるジャンルを超越したセレクションと、超人的なミックス・スキルには定評がある。06年にエレクトロ系の野外フェス〈metamorphose〉のヘッドライナーとして来日し、翌年、恵比寿LIQUIDROOMの〈om.tokyo〉でもプレイ。その内容を収録したミックスCD『Live in Tokyo』も話題を呼んだ。また、92年からスタートした自身のパーティー〈Mushroom Jazz〉では、ジャズ・フリークとしての表情も見せる。〈StarFes.〉には2年連続の出演。

<http://www.djmarkfarina.net>



NAS "illmatic 20th anniversary special set"

NY出身のラッパーで、ヒップホップ界最高のリリシスト。91年、若干18歳にして、メイン・ソースの楽曲にフィーチャーされて絶賛を浴び、名門コロンビアと契約。94年のデビュー作『イルマティック』には、DJプレミア、ピート・ロック、Q・ティップといった東海岸の「顔」が名を連ね、数々のクラシック・ナンバーを収録した名盤として今なお評価が高い。現在はデフ・ジャムに所属し、最新作『ライフ・イズ・グッド』でも全米1位を獲得。『イルマティック』の20周年記念となる今年世界各地でアルバム再現ライブを敢行しており、日本では今回が初披露である、ドキュメンタリー映画『Nas/タイム・イズ・イルマティック』の上映も決定。

<http://www.nasirjones.com>



PUBLIC ENEMY

1982年、ニューヨークのロングアイランドにて結成されたヒップホップ・グループ。1987年に1stアルバム『Yo! Bum Rush the Show』でデビューを飾ると、社会や政治に抗議する姿勢が独自のスタイルとして話題を集める。1989年リリースの2ndアルバム『It Takes a Nation of Millions』では、重厚なサンプリング・ノイズの洪水と、ブラック・ムスリム思想が色濃く反映されたラディカルなライムを以て、ヒップホップの商品価値を単なる娯楽から一段上の領域に引き上げた。その後も政治意識の高い彼らのアルバムがシーンに与えた影響は計り知れず。その数々の功績は、2013年にロックの殿堂入りという形で称えられた。そして2014年、2009年以来となる待望の再来日を果たす。 <http://www.publicenemy.com>



BOREDOMS

1986年EYEが中心となって結成。2001年にV∞REDOMS (ボアダムス) としてドラム3台とDJで円輪を組み演奏するパフォーマンスを続けていくなか、2007年には77台のドラムとのコラボレーションイベントである77 BOADRUMをNYで、2008年には88台のドラムで88 BOADRUMをLAで実現。以後、毎年各国でボアドラムを行い、2013年には日本で91台のドラムで7×13 BOREDORUMを行った。ボアダムスは20年以上にわたる活動の中で様々な音楽や文化を消化し、浄化して力強く、衝撃的で美しい活力にあふれた音楽へと変化を続けている。今回「StarFes.'14」では20名のシンバル、8名のギターとベース、6名のドラマーが浜辺に円輪配列するサーキュレーション・システムで出演決定。

<http://www.boredoms.jp>



一般のお客様のお問い合わせ先：03-6408-5478 (Vice Media Japan株式会社 / 平日13時~17時)

媒体関係のお問い合わせ (ご掲載につきましては下記担当者までお問い合わせください)

立川 智宣 (TOMONOBU TACHIKAWA) Tel : 080-5684-2176 E-mail : tomo_tachikawa@icloud.com

StarFes.'14 Press Release (出演者)



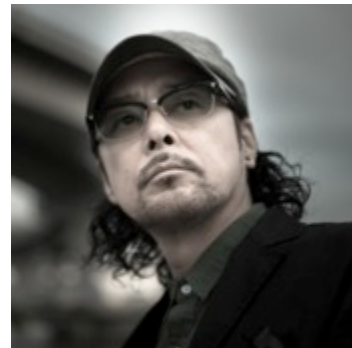
※国内外 A to Z 順

<http://www.vice.com/jp>
<http://star-fes.net>

DJ KRUSH

1962年東京生まれ。1980年代初頭に公開された映画『ワイルド・スタイル』に衝撃を受け、ヒップホップに足を踏み入れる。1987年にKRUSH POSSEを結成し、日本を代表するヒップホップ・チームとして活躍する傍ら、プロデューサー、リミキサー、DJとして国際的な活動を展開。選曲・ミキシング・サウンドプロダクションにおける才能が、海外のクラブ・シーンでも高く評価される。ブラック・ソート (THE ROOTS) への楽曲提供、ハービー・ハンコックや k.d.ラングの楽曲リミックスといったグラミー・アーティストをはじめ、ジャンルを越えた様々なアーティストとコラボレート。インターナショナル・アーティストとして、確かな軌跡を残し続けている。

<http://www.sus81.jp/djkrush/>



TAKKYU ISHINO

1989年にピエール瀧らと“電気グルーヴ”を結成。1995年には初のソロアルバム『DOVE LOVES DUB』をリリース、この頃から本格的にDJとしての活動もスタートする。1997年からはヨーロッパを中心とした海外での活動も積極的に行い始め、1998年にはベルリンで行われる世界最大のテクノ・フェスティバル“Love Parade”のFinal Gatheringで150万人の前でプレイするという偉業を成し遂げる。1999年からは1万人以上を集める日本最大の大型屋内レイヴ“WIRE”を主催し、精力的に海外のDJ/アーティストを日本に紹介している。2004年は約3年振りとなるアルバム『TITLE#1』、4月には『TITLE#2+#3』(2枚組)を2ヶ月連続でリリース。2010年には6年振りとなるオリジナルソロ作品『CRUISE』をリリースした。 www.takkyuishino.com



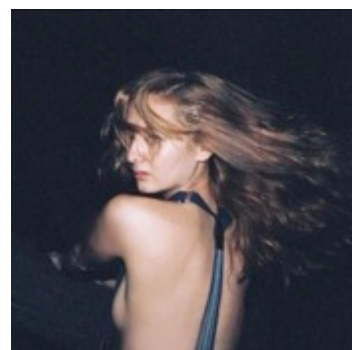
the band apart

2001年に1stシングル『FOOL PROOF』をリリース。パンク、ジャズ、フュージョン、メタルなどを独自の解釈で採り入れたサウンドで注目を集める。その多種多様な音楽が口コミレベルで広がり、2003年にリリースされた1stフルアルバム『K. AND HIS BIKE』は、目立ったプロモーションがないにもかかわらずロングセールスを記録した。その後は自身のレーベルASIAN GOTHIC LABELを立ち上げ活動中。最新作は2014年5月21日に同時リリースされたミニアルバム『BONGO e.p.』と前作のツアーを収めたDVD『510x283』。荒井のソロ活動、人気声優・坂本真綾への楽曲提供など、ファン層を拡大し続けている。荒井岳史 (ヴォーカル・ギター)、原昌和 (ベース)、川崎亘一 (ギター)、木暮栄一 (ドラム) http://www.asiangothic.org/the_band_apart/



VAN CLIFFE

レディース・ファッション誌やファッションショー、テレビなど、様々なメディアを通して活躍しカリスマ的な人気を誇るモデル/女優のELLI-ROSE。2007年よりイベントのオーガナイズや、男性モデルのディエゴとのDJユニット「Van Cliffe.D」のDJとして活動をスタートし、今や東京のナイト・シーンにおいてハズせない人物となっている。また、2009年には初のミックス・アルバム『Van cliffe.D』を〈ユニヴァーサル〉からリリースしており、テクノ、ハウス、ディスコ、ミニマル...etcを自在に操る骨太な選曲もさることながら、国内のみならずアジア各国、LA、そしてスペインのイビザ島にも招かれるほどのDJスキルの持ち主。ブースで見せるキュートなキャラクター性も魅力だ。 <http://vancliffe.com>



一般のお客様のお問い合わせ先 : 03-6408-5478 (Vice Media Japan株式会社 / 平日13時~17時)

媒体関係のお問い合わせ (ご掲載につきましては下記担当者までお問い合わせください)

立川 智宣 (TOMONOBU TACHIKAWA) Tel : 080-5684-2176 E-mail : tomo_tachikawa@icloud.com

StarFes.'14 Press Release (出演者)



※国内外 A to Z 順

<http://www.vice.com/jp>
<http://star-fes.net>

ZAZEN BOYS

向井秀徳を中心に活動するニューウェーブ・ロック・バンド。ナンバーガール解散後の2003年に本格始動し、同年8月のRISING SUN ROCK FESTIVALにて初ライブを行う。以後、向井所有のMATSURI STUDIOを拠点に、国内外で精力的なライブ活動を展開。二度のメンバーチェンジを経て現在の編成に至る。2012年にリリースされた最新作『すとーりーず』は通算5枚目のフルアルバム。幾度のセッションを経て鍛え上げられたソリッドかつタイトなバンドアンサンブル、近年取り組んできたシンセや打ち込みを駆使するダンスミュージック的アプローチによる独自のサウンドは、一つの完成形を迎えている。向井秀徳（ヴォーカル、ギター、キーボード）、松下敦（ドラム）、吉田一郎（ベース）、吉兼聡（ギター） <http://www.mukaishutoku.com>



さらに…世界で活躍するフリースタイルパフォーマーたちが幕張の浜を盛り上げる！

現在日本チャンピオンであるヒューマンビートボクサーのTATSUYA from 人ISM。本場アメリカで「パルクール」を修行し、日本人初のプロトレーサーとして国内に留まらぬ活躍をみせるZEN。2本の縄を使って跳ぶ縄跳び「ダブルタッチ」シーンよりパイオニア的存在であるチームJ-TRAP。Red Bull Street Styleにて準優勝、自身のチームを持ちながらトッププレイヤーとして世界で活躍するフリースタイルフットボーラーのYOKOTA YOSUKE。そして、「フリースタイルバスケットボーラー」の世界一に輝き、シーントップクラスのパフォーマンスアート集団へ所属、モデルとしても活躍するZINEZ (Jinji Takeguchi)。計5組のスーパー・パフォーマーたちが幕張のビーチをエンターテインメントで盛り上げる！



一般のお客様のお問い合わせ先：03-6408-5478 (Vice Media Japan株式会社 / 平日13時～17時)

媒体関係のお問い合わせ (ご掲載につきましては下記担当者までお問い合わせください)

立川 智宣 (TOMONOBU TACHIKAWA) Tel : 080-5684-2176 E-mail : tomo_tachikawa@icloud.com